

寒グロ釣りに行っど！

寒グロ釣りに行っど！



海水を少しずつ入れながら、マキエはハンバーグより固めを意識して作る

クロ釣りファンの皆さん、クロ釣りに行ってますか、釣れますか？
今年は、海水温が高めで推移しているため、クロの接礁が遅れている様な気がします。ただ水温が高い割には、エサ盗り軍団が居る磯と居ない磯、また、日によっても居る時と居ない時がある様です。どうも、原因は海水温だけでなく、潮具合も良くないような気がします。ただ、クロは悪い悪いと言っても、絶対に釣れます。



間泊
佐多岬

【マキエサ】
1日分のマキエサとして、生の沖アミ3kgを2角。配合エサはマルキユウの「グレパワーV9」を1袋、「グレの道」を1袋、「遠投ふかせTR」を1袋準備します。配合エサは好みでよいのですが、集魚力やマーカ的な役割の物と遠投出来るタイプの物を準備した方が、状況により機転が利くと思います。これらを2回に分けて作りま

す。ここで海水を少し入れて、よく混ぜるようにします。次に配合エサを入れますが、最初にマーカ的な役割の「グレの道」を入れてすぐに混ぜます。そうしないと、粒子が軽いので風に飛ばされてしまうからです。次に「グレパワーV9」、最後に「遠投ふかせTR」を入れて、海水を全体的にかけて、よく混ぜます。後は底のエサを上にといい感じで混ぜて完成です。

「ツケエサ」

私は、生の沖アミ（マキエサ用）半角をツケエサ用として購入します。それを2つに切つて、半分ずつ使うようにしています。この中には、小粒から大粒まで入っているの、状況により臨機応変に対応出来ると思うからです。

例えば、エサ盗りが多い時は、小粒の頭無しをつけて、目立たない様にしたり。流れが速い時は頭のついた大粒の物を真

鹿児島県佐多岬間泊



重めの仕掛けで、深ダナで掛けた良型の寒グロ、



ラインは強引なやり取りにも安心して耐えられる、細くて強度のあるサンラインの道糸テクニシャンネオ1.75号とハリスはトルネードVハードの1.75～2号を使用した。

エサ盗りをヒントに、
寒グロ攻略！



強風の中で潮はフラフラの悪条件、
貴重な1尾で取り込みは慎重に！

私の寒グロ仕掛け例

ロッド：がま磯
アテンダーⅡ
1.25号5.3m

道糸：
サンライン
テクニシャン
ネオ1.75号

リール：ダイワ
トーナメント
ISO Z 2500 LBD

ウキ止め
(竿1～2本)
半円シモリ

ウキ：釣研
ゼクトM-L
B～3B

ウキクッション
Tタイプ
ガン玉B～3B

極小サルカン

ジンタン2～3号

ハリス：サンライン
Vハード1.75～2号
2ヒロ半

ハリ：がまかつ
競技くわせ 5号
競技口太3～4号
TKO3～5号
伊勢尼3～4号黒

「仕掛け」

寒グロ釣りで、一番大事なのが仕掛けだと思っています。特に今期は、クロの喰いが今ひとつなので、数少ない手掛かりをもとに、仕掛けを作り、タナを探っていきます。

今までの様に、0のウキに完全フカセで、2ヒロから3ヒロで喰ってくることは少ない様に思います。もちろんそのような場所でも、釣れる時もあるでしょうが、大体は深釣りだったり、磯際を釣ったりしない、ただ潮に乗せてウキが入るのを待っている、厳しい結果になる事が多い様に思います。

それではどうすればよいのか？ですが、まず、仕掛けを作る前にマキエサを撒いて、潮の流れやエサ盗りがいるかを確認します。また、風があるのか、強いのかを考えて道糸を選びます。風が強い時は道糸を細くしてなるべく風の抵抗を受けないようにします。

問題はウキ選びですが、最初のスタートはやはり0のウキがよいでしょう。タナは3ヒロからスタートが基本だと思えます。風の強い時はウキは沈ませず、風がよいので、0αウキを使用したり、ジンタンをつけて、

つ直ぐにつけたり。深いタナを釣る時は、頭を取って丸くして、早く沈める等と色々な工夫をします。

「磯選び」

今の時期は、どんな磯でもあまり気にしないで、ゆつくり釣りの出来る所が私は好きです。たしかにA級磯はクロがよく釣れると思いますが、ほぼ毎日釣り人が乗礁しているの、エサ盗りも多いと思います。そして、クロも毎日エサが入るとスレてくるので釣りづらい時もあります。

また、時期的にも産卵を意識したクロも居るので、ドン深の



集魚力や、マーカ的な役割の物と遠投出来るタイプの物を準備した方が、状況により機転が利くと思い、配合エサはマルキユウの「グレパワーV9」を1袋、「グレの道」を1袋、「遠投ふかせTR」を1袋使用した。